

事業計画書（実績書）

令和4年3月31日

団体名 綾部市母子寡婦福祉会

<p>事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）</p>	<p>行政や関係機関との緊密な連携のもと、仲間づくり行事などを行い、母子、寡婦の生活や心の安定と福祉の向上に努めた。 コロナ禍救済のための京都府緊急予算により、生活必需品配布事業を行った。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>綾部市母子寡婦福祉会事業</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>833,249円 （144,000円）</p>
<p>補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会、京都府母子連の会議・交流会・研修会 ・季節ごとの仲間づくり行事
<p>事業実施期日</p>	<p>令和3年4月1日～令和4年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>綾部市内 他</p>
<p>事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「母子家庭奨学金申請」の証明会（4月18日） 対象者に母子家庭であることの証明を行った ・総会（4月18日） ・プチ夏まつりと食料品配布（7月31日） 浴衣姿で縁日の雰囲気を楽しんだ 母子家庭対象の食料品配布を実施した ・中部ブロック懇話会（9月18日） 講師を招き更年期以降の女性の体について学習した ・プチハロウィンと日用品配布（10月24日） コスプレとお菓気でハロウィン気分を楽しんだ 母子寡婦家庭対象の第1回日用品配布を実施した ・いきいきふれあい事業「あおまつ号で天橋立へ」（10月31日） ・クリスマスリース作り（12月5日） 百均グッズでクリスマスリース作りに挑戦した ・日用品配布（12月25日） 母子寡婦家庭対象の第2回日用品配布を実施した ・寄せ植え教室（12月26日）

	<p>大雪のため各自材料持ち帰りでの宿題となった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレンタインお菓子作り (2月13日) 家に居ながらリモートでのお菓子作りに挑戦した ・子どもたちの手紙を添えて寡婦家庭に贈り物 (2月14日～) コロナ禍で中止した「寡婦暮らしの懇談会」代替として食品配布 ・いちご狩り (3月19日) 家族だけではなかなか行けない場所で食べ放題を体験 ・母の卒業式 (3月29日) 子どもが全て成人し、母子→寡婦へと移行した母の子育て卒業を 労い記念品贈呈 <p>※コロナ影響で京都府母子連の交流・研修は縮小されました※</p>
<p>補助金の効果 (成果) (計画書では期待できる 効果を、実績書では得ら れた成果を記入してくだ さい。)</p>	<p>「母子家庭奨学金申請の証明」や、生活必需品配布により、会の存在を広く母子家庭の皆様に周知でき、入会促進につなげることができた。</p> <p>季節ごとの仲間づくり行事では、家族だけではできない体験をし、母子のふれあえる機会をたくさん作れた。また寡婦会員と母子会員の世代を超えた交流もできた。</p>

収支予算書(計算書)

令和4年3月31日

団体名 綾部市母子寡婦福祉会

(単位 円)

	区分	予算額	収入済額	明細
	収入の部	市補助金	144,000	144,000
府母子連		99,200	99,200	いきいきふれあい事業
京都新聞社		10,900	11,066	いきいきふれあい事業
会費		45,000	53,000	53名分
府物資援助金		0	105,600	生活必需品配布事業
府物資援助金		0	211,200	生活必需品配布事業
府物資援助金		0	158,400	生活必需品配布事業
社協歳末助け合い助成金		0	30,000	寄せ植え教室
自己資金		0	20,783	行事参加費等
合計		299,100	833,249	
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	事業費	249,100	800,333	母子家庭奨学金証明会 プチ夏祭り いきいきふれあい事業 (全体¥115,725の内 市補助分¥5,459) 生活必需品配布事業 (全体¥477,000のうち 市補助分¥1,800) クリスマスリース作り 寄せ植え教室 (全体¥35,222の内 市補助分¥5,222) バレンタインお菓子作り 寡婦くらしの懇談会 いちご狩り 他 役員事業活動・会議 各団体の分担金
	事務費	50,000	32,916	コピー代、インク代 用紙代、文房具代 切手代等
合計	299,100	833,249		
差引	0	0		